

V-JET工法専用固化材

VJ-H・VJ-M・VJ-L

V-JET工法は、セメント系硬化材の大容量高圧噴射により地盤を切削し、地盤中に円柱状の改良体を造成するジェットグラウト工法です。段差対向噴射機構を持つ特殊専用モニターにより、より効率的な切削が可能となり、施工の高速化と改良体の大径化を図っています。

V-JET工法の専用固化材として開発された「VJ-H」、「VJ-M」、「VJ-L」は、高い流動性と低ブリーディング性能を有し、改良強度により使い分けることができる、プレミックスタイプのセメント系固化材です。

特長

- 混練された硬化材（セメントスラリー）は高い流動性を有するため、硬化材を超高圧で地盤中に噴射して噴射攪拌を行うことができます。
- 砂質土地盤においても、噴射攪拌により混合された改良体のブリーディングを低く抑えることができます。
- 3タイプの使い分けによって、改良目的に合った改良強度を設定できます。
- プレミックスタイプの材料であるため、現場における混練作業の省力化が可能です。

種類

名称	硬化材タイプ	主な適用範囲	適用地盤
VJ-H	標準タイプ	強度発現型地盤改良、止水	砂質土、粘性土
VJ-M	中強度タイプ	強度抑制型地盤改良、止水	砂質土
VJ-L	低強度タイプ	強度抑制型地盤改良、止水	砂質土

注) **VJ-M**、**VJ-L** は、砂質土地盤の強度抑制型として適用するが、砂質土主体の粘性土との互層地盤においても適用できる。

硬化材の標準配合

名称	W/C (%)	硬化材の標準配合 (1 m ³ 当たり)		
		固化材	水	計
VJ-H	128	620 kg	795 ℓ	1000 ℓ
VJ-M	139	580 kg	808 ℓ	1000 ℓ
VJ-L	139	580 kg	808 ℓ	1000 ℓ

室内配合試験結果 (参考)

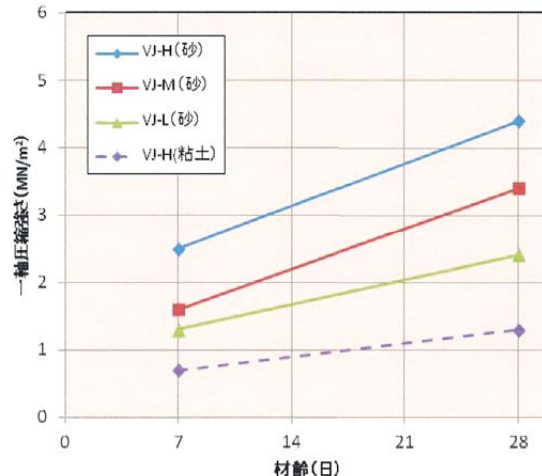
供試体の作製

種別	土質材料		混合比 (硬化材 : 土質材料)
	名称	含水比 (%)	
砂の改良体	豊浦珪砂 (豊浦標準砂)	10	4 : 6
粘土の改良体	トクレー (粘土)	80	4 : 6

注) 硬化材の配合は、上記の標準配合とした。

改良体の強度試験結果

改良体	一軸圧縮強さ (MN/m ²)	
	材齢 7 日	材齢 28 日
VJ-H (砂)	2.5	4.4
VJ-H (粘土)	0.7	1.3
VJ-M (砂)	1.6	3.4
VJ-L (砂)	1.3	2.4



- このカタログに記載の商品はことわりなく仕様や取扱いを変更する場合があります。
- ここに記載された事項は、弊社での標準的な試験に基づくデータであり、現場での多岐にわたる条件下での性能を保証するものではありません。

問合せ先 **株式会社日東テクノ・グループ**
 〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-19-6
 TEL 03-5825-3703 FAX 03-5825-3756

株式会社バイテック
 〒104-0045 東京都中央区築地 2-1-16
 TEL 03-3248-0291 FAX 03-3248-1059